

令和3年度 第2回 沖縄観光2次交通の利便性向上に向けた検討委員会

観光客の動態データの取得及び分析

—中間報告—

令和4年2月14日

1. 実施概要

- ❖ 今後の観光2次交通に係る課題解決、利便性向上等に資する基礎的データの取得を目的に観光客の動態データを収集し分析を行う。
- ❖ 昨年度に引き続きレンタカーGPSデータによる分析を行う。OTSレンタカーの協力のもと、車載機器（ナビ）により、合計5,000件の貸渡の位置情報データを取得する。
- ❖ 本報告では現在受領している令和3年1～9月までの3,540件のデータについて速報的に報告する。次回の第3回委員会では、12月末までの全データ（5,000件）についての報告を予定する。

※前回委員会にて、公共交通のデジタルチケットを用いた乗降データをの分析をあわせて行う予定であることを報告していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりチケット造成・販売に影響が出たため、本事業では分析を行わないこととした。

【データ取得概要】

収集するデータ	・ GPS取得機器から送信される位置情報データ（概ね60秒間隔） ・ 属性情報（性別・年齢・居住地等）
収集方法	・ 車両に設置されている車載機器から取得される位置情報を収集
取得期間	・ 令和3年1月1日～令和3年12月31日
取得データ数	・ 5,000件（今回の報告は令和3年1～9月までの3,540件）

【月別データ取得数】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
今回報告	460	460	580	510	410	350	350	196	224				3,540
今後の追加データ				100	100					427	412	421	1,460
計（最終報告）	460	460	580	610	510	350	350	196	224	427	412	421	5,000

分析の視点

- ・以下の視点のもと分析を行う。

（１）沖縄本島を訪れた観光客の基礎的動態の分析

- ・観光２次交通の課題解決に向けた基礎資料として、沖縄本島を訪れた観光客の立ち寄り場所や周遊状況等の把握・分析を行う。

（２）エリアに着目した分析

- ・世界自然遺産登録された「やんばる３村エリア」、分散化が求められる「東海岸エリア」、県内の代表的な観光スポットである「首里城公園」に着目し、それぞれのエリア来訪者の立ち寄り状況や周遊特性を把握することで、立ち寄り者数の増加や、周遊の促進、分散化等に向けた分析を行う。

（３）観光２次交通の課題解決に向けた分析

- ・（１）、（２）の把握・分析結果を踏まえ、県内の観光施設等への立ち寄り・周遊状況と、公共交通の路線網やサービスレベル等を重ね合わせた分析を行うことで、観光２次交通に係るモデルルートの造成や利便性向上に資する検討を行う。

⇒本日は速報として（１）、（２）の一部を報告

1. 実施概要

分析の項目

	分析項目		分析の単位	今回報告 (1月から9月分)	最終報告 (1月から12月分)
(1) 基礎的動態の分析	①属性分析	◆性別・年代・居住地・乗車人数	—	○	○
	②立寄り分析	◆立ち寄り件数・立寄り比率	メッシュ別	○	○
			市町村別	—	○
			観光エリア別	—	○
	③昼夜間別の立ち寄り分析	◆昼間・夜間別の立ち寄り件数・立寄り比率	メッシュ別	—	○
			市町村別	—	○
	④昼間滞在時間分析	◆昼間の滞在時間	市町村別	—	○
			観光エリア別	—	○
	⑤周遊分析	◆周遊を組み合わせごとに周遊件数・比率	市町村間	—	○
			観光エリア間	○	○
	⑥四半期別の立ち寄り及び周遊分析	◆四半期別に以下を分析 ・立ち寄り件数・立寄り比率 ・周遊件数・比率	メッシュ別	—	○
			市町村別	—	○
			観光エリア別	—	○
	⑦属性別の立ち寄り及び周遊分析	◆属性別の4パターン（40代未満・以下×性別）で以下を分析 ・立ち寄り件数・立寄り比率 ・周遊件数・比率	メッシュ別	○	○
			市町村別	—	○
			観光エリア別	—	○
(2) エリアに着目した分析		◆やんばる3村、東海岸エリア、首里城公園の3地域ごとに以下を分析 ・立ち寄り件数・立寄り比率 ・周遊件数・比率	やんばる3村エリア	—	○
			東海岸エリア	—	○
			首里城公園	○（一部）	○
(3) 観光2次交通の課題解決に向けた分析		◆公共交通の路線網やサービスレベル等を重ね合わせた分析 ◆観光2次交通に係るモデルルート of 造成や利便性向上に資する検討	—	—	○

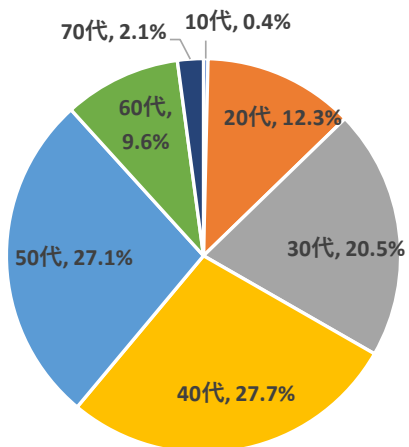
2. 分析結果

分析結果

①属性分析

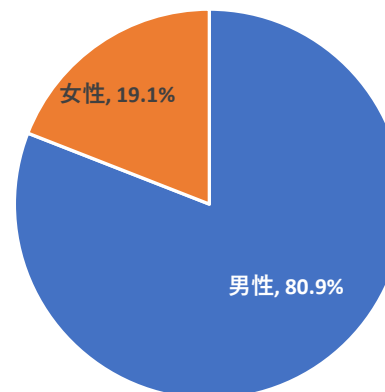
- ◆年代は40代が最も多く27.7%、次いで50代が27.1%。性別は男性が80.9%。
- ◆居住地は関東が29.1%、次いで沖縄県が23.4%。乗車人数は1人が40.2%、次いで2人が34.8%。

年 代



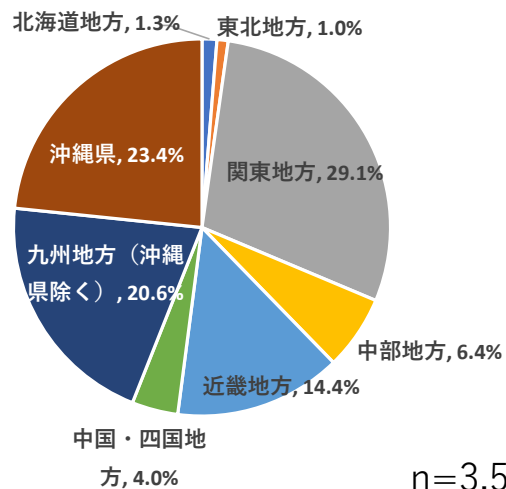
n=3,540

性 別



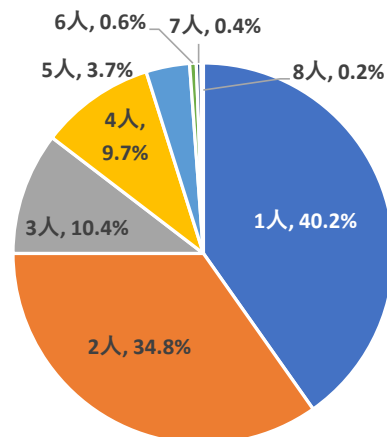
n=3,540

居住地



n=3,540

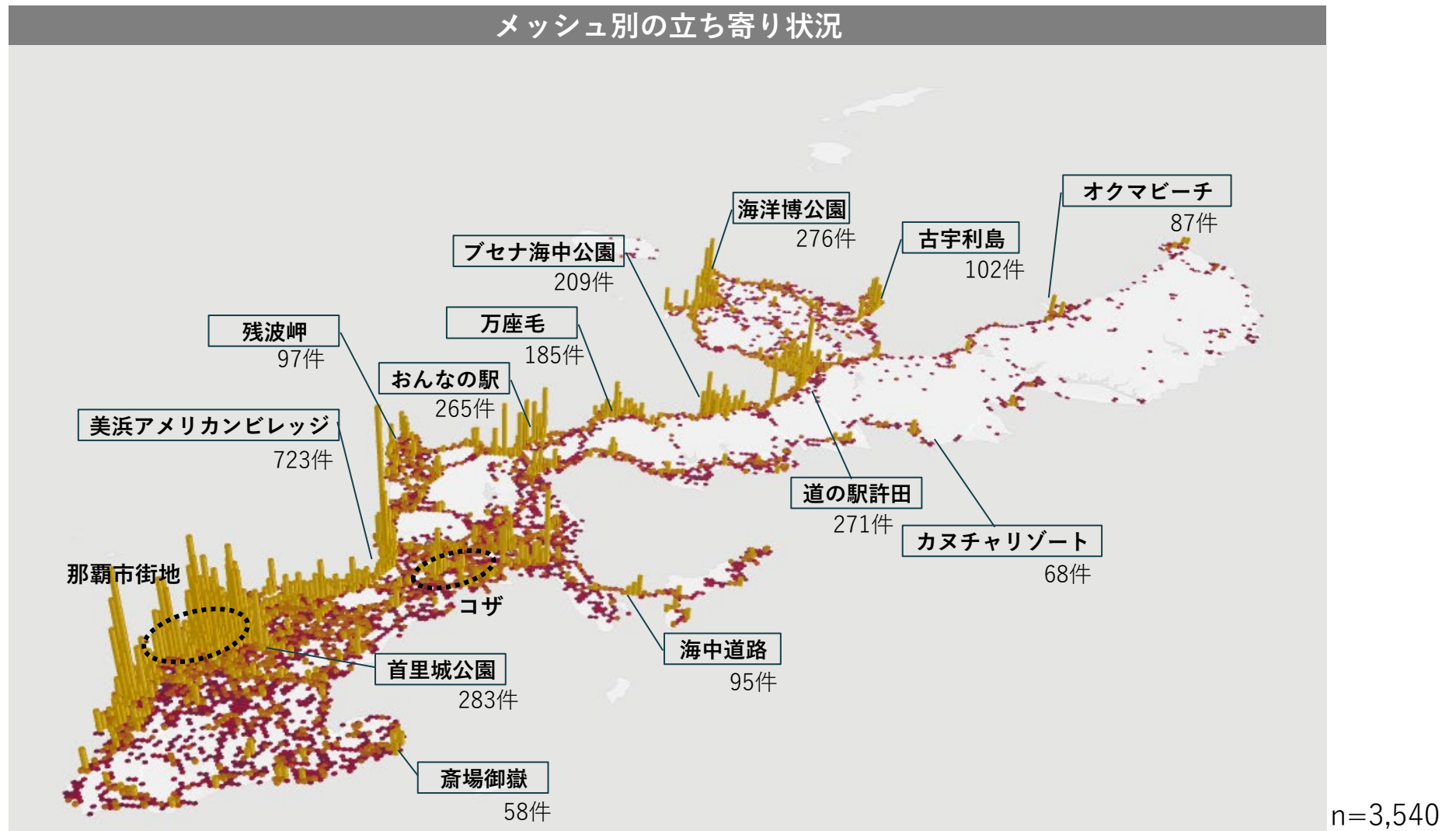
乗車人数



n=3,540

②立ち寄り分析（メッシュ別）

- ◆那覇市街地、美浜アメリカンビレッジ、海洋博公園、おんなの駅等の西海岸海岸沿い・国道58号沿いの立ち寄りが多い。
- ◆東海岸はうるま市、沖縄市、南城市等への立ち寄りが多い。



※メッシュ（1辺約100mの正六角形）を単位として、30分以上の滞在をカウント

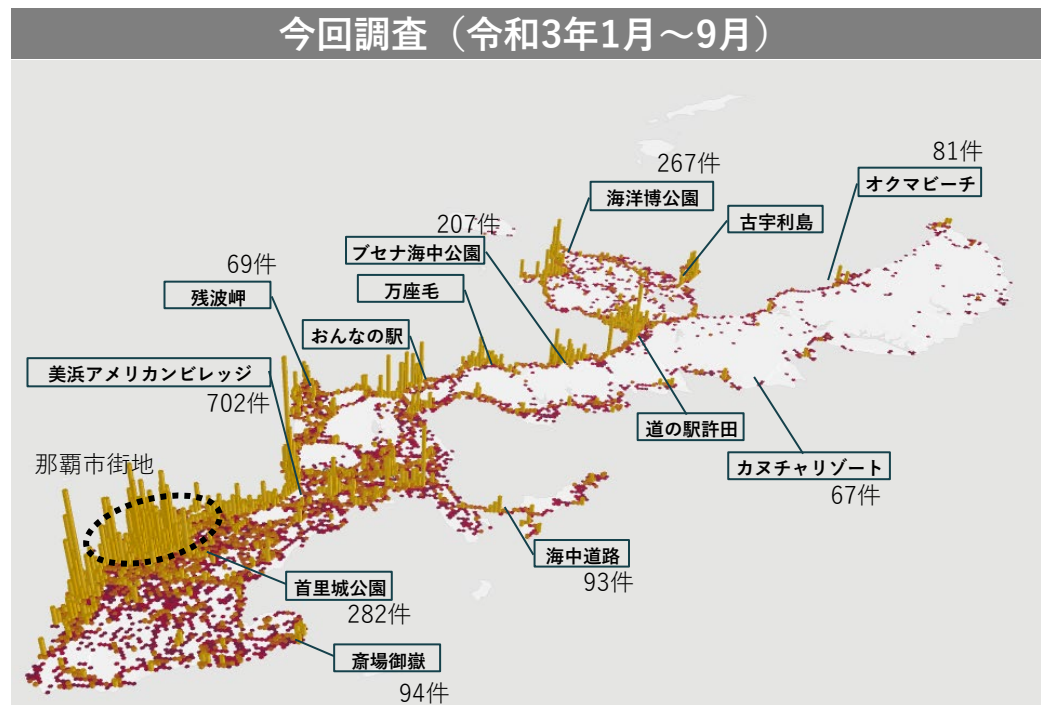
※一部観光地付近の件数を表示しているが代表的な100mメッシュ内の件数であり参考として表示
（別途観光エリアをゾーニングした分析は最終報告で実施）

2. 分析結果

②参考：昨年度結果との比較

◆昨年度実施した立ち寄り分析と比較の結果、おおむね立ち寄りの傾向は同様となっている。

⇒美浜アメリカンビレッジ、海洋博公園等の西海岸エリアに立ち寄りが多い傾向。



n=3,540



n=5,115

※メッシュ（1辺約100mの正六角形）を単位として、30分以上の滞在をカウント

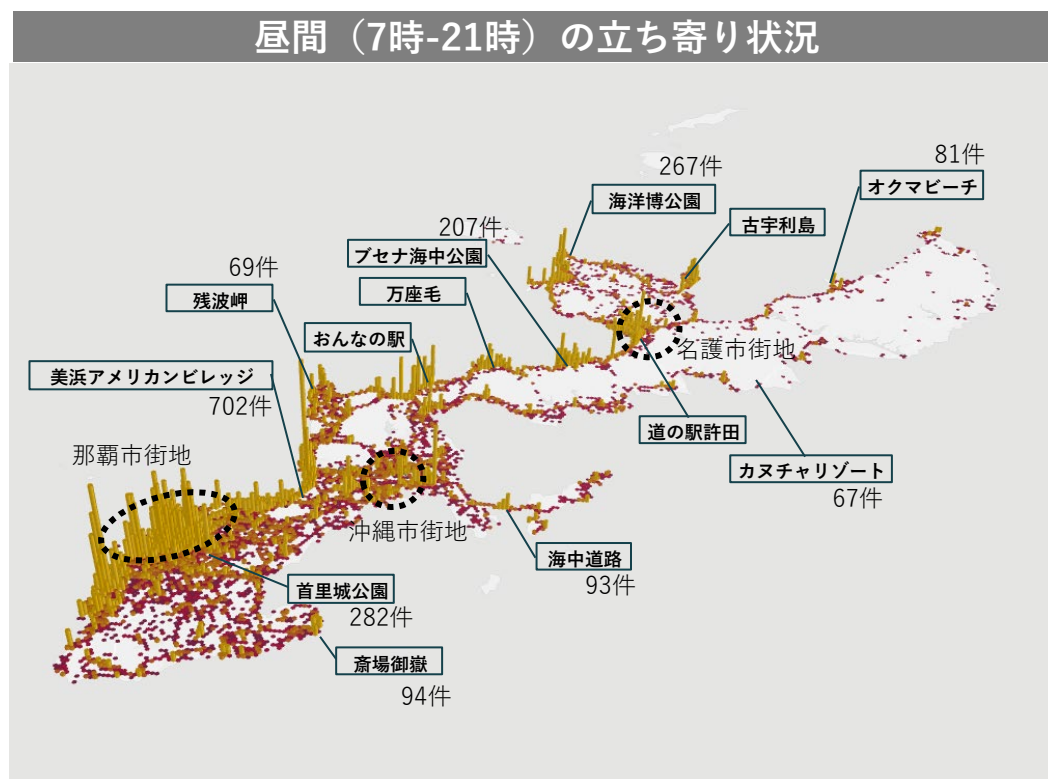
※一部観光地付近の件数を表示しているが代表的な100mメッシュ内の件数であり参考として表示

（別途観光エリアをゾーニングした分析は最終報告で実施）

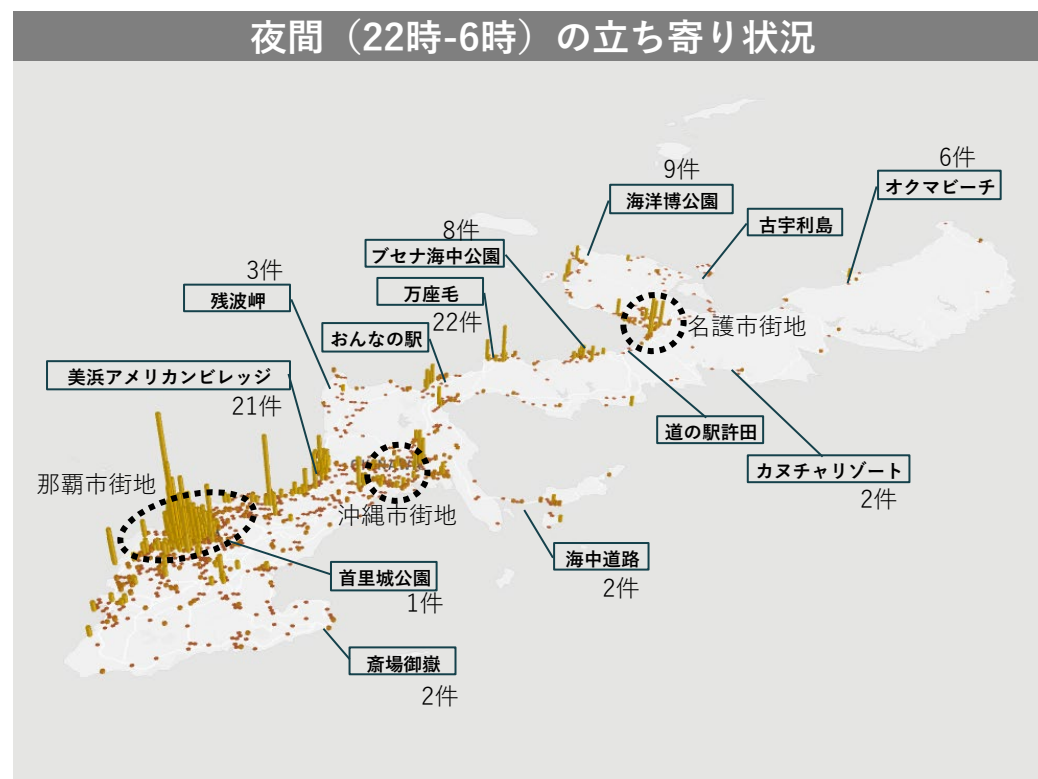
2. 分析結果

③昼間・夜間滞在別の立ち寄り分析

- ◆昼間（7時-21時）、夜間（22時-6時）の滞在状況を確認すると、昼間は幅広い地域に滞在している。
- ◆夜間は那覇市街地が最も多くなっている。那覇市を観光した方に加えて、前泊・後泊の宿泊と推察される。
夜間滞在は那覇市街地以外では、ホテルの立地する西海岸沿い、沖縄市街地周辺や名護市街地が多い。



n=3,540



n=3,540

※メッシュ（1辺約100mの正六角形）を単位として、30分以上の滞在をカウント

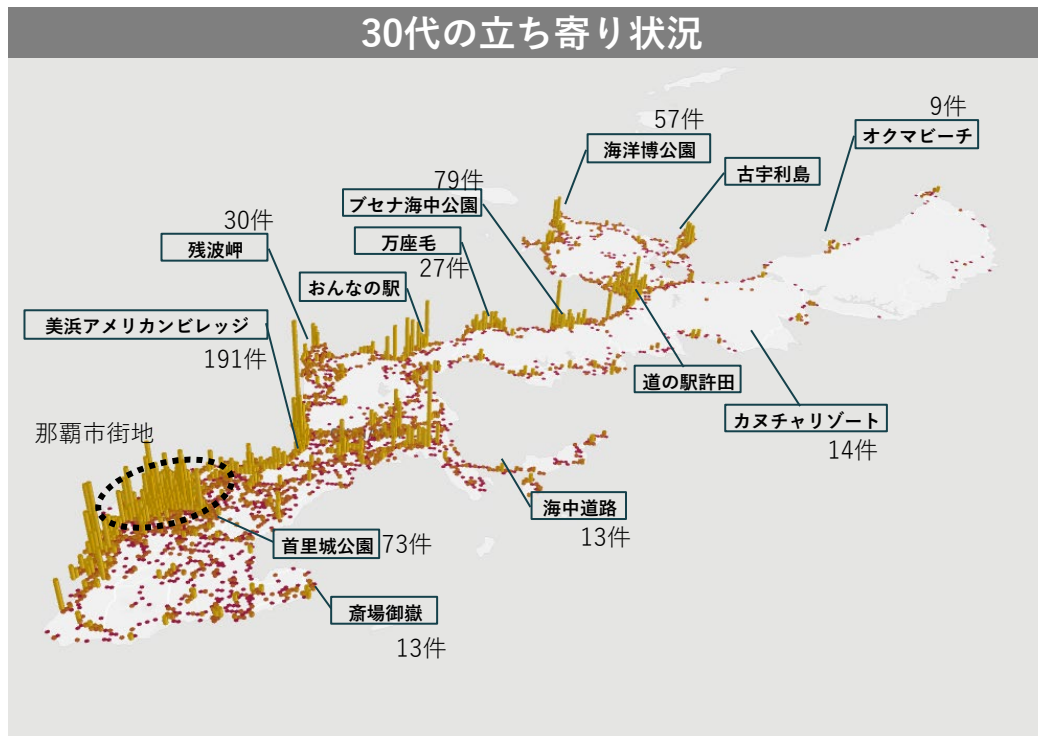
※一部観光地付近の件数を表示しているが代表的な100mメッシュ内の件数であり参考として表示
（別途観光エリアをゾーニングした分析は最終報告で実施）

2. 分析結果

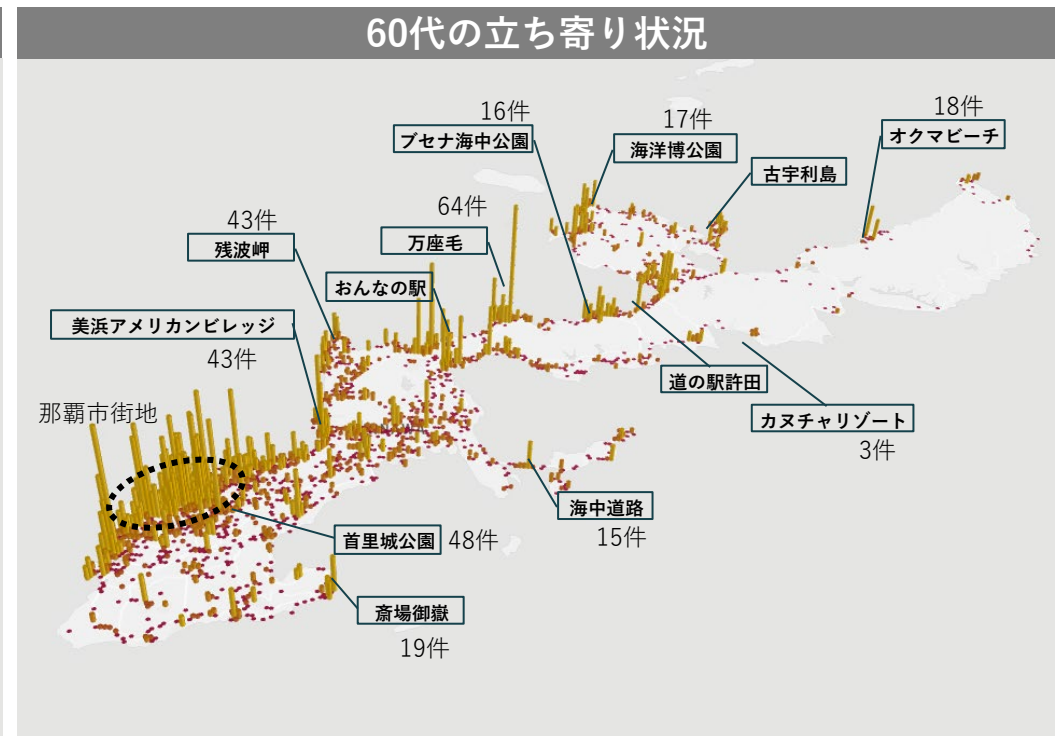
④属性別（年代別）の立ち寄り分析

◆年代別（30代・60代）の立ち寄り状況を以下に示す。

◆30代は美浜アメリカンビレッジ付近等の立ち寄りが最も多く、60代は斎場御嶽、オクマビーチ等への立ち寄りが相対的に多い。



n=725



n=339

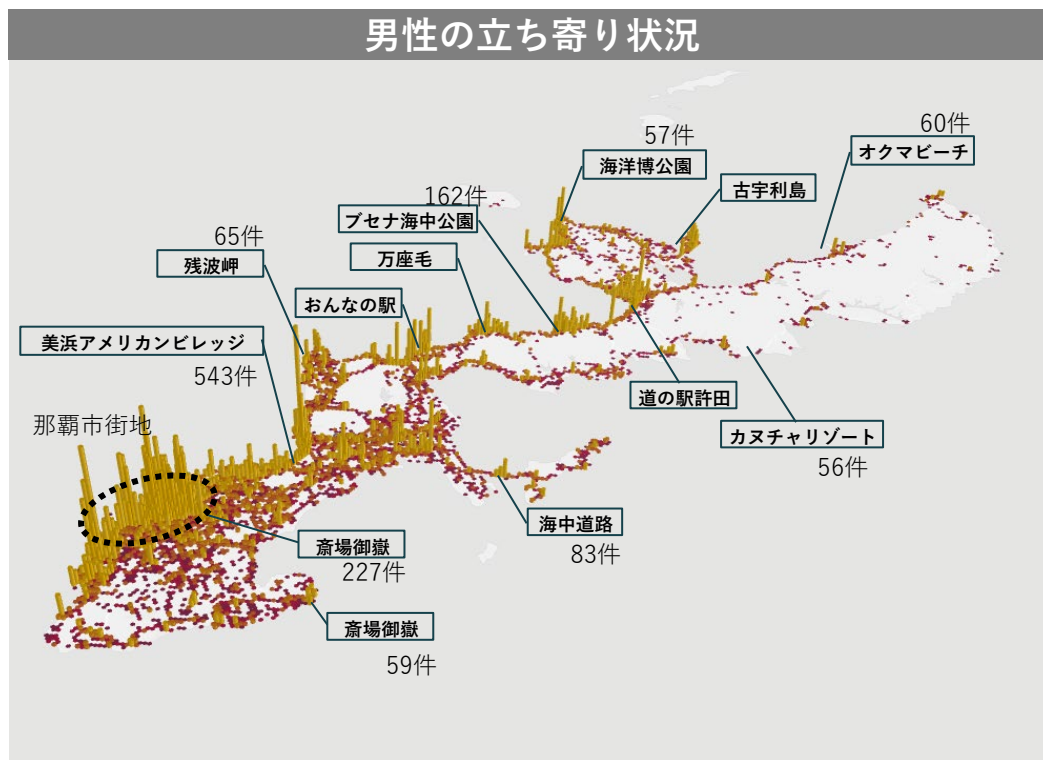
※メッシュ（1辺約100mの正六角形）を単位として、30分以上の滞在をカウント

※一部観光地付近の件数を表示しているが代表的な100mメッシュ内の件数であり参考として表示
（別途観光エリアをゾーニングした分析は最終報告で実施）

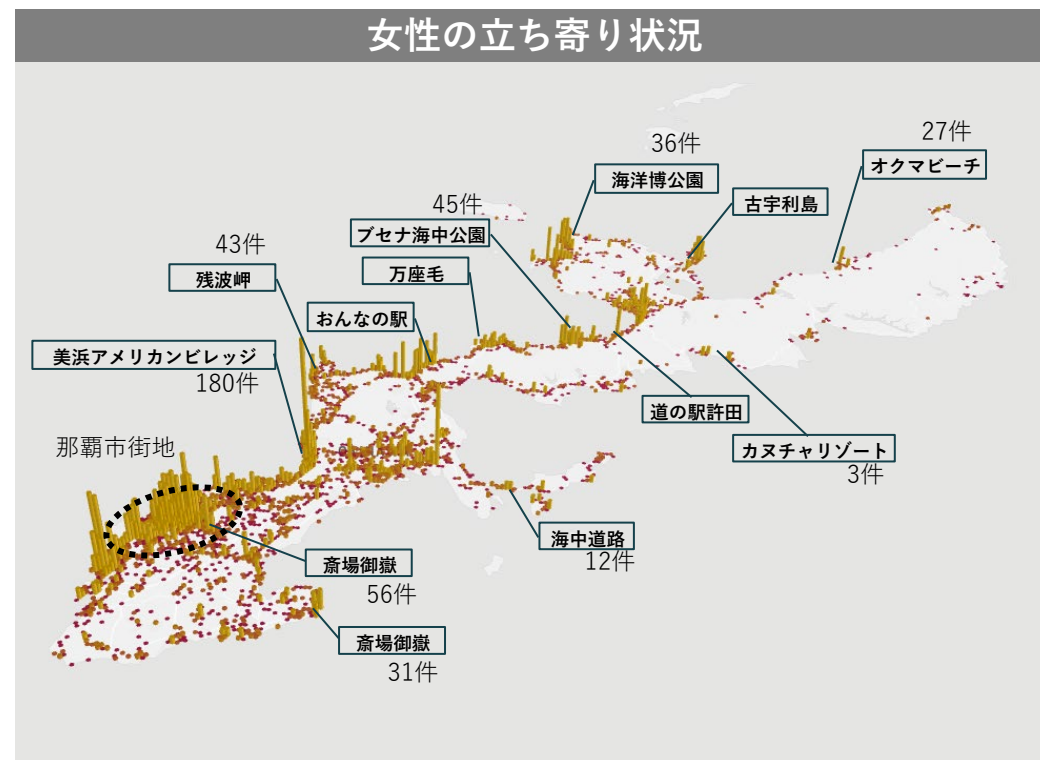
2. 分析結果

⑤属性（性別）の立ち寄り状況

◆サンプル数の違いに留意する必要があるが、男性と比べて女性の立ち寄り先は那覇市街地や西海岸側に偏っている傾向がみられる。



n=2,865



n=675

※メッシュ（1辺約100mの正六角形）を単位として、30分以上の滞在をカウント

※一部観光地付近の件数を表示しているが代表的な100mメッシュ内の件数であり参考として表示
（別途観光エリアをゾーニングした分析は最終報告で実施）

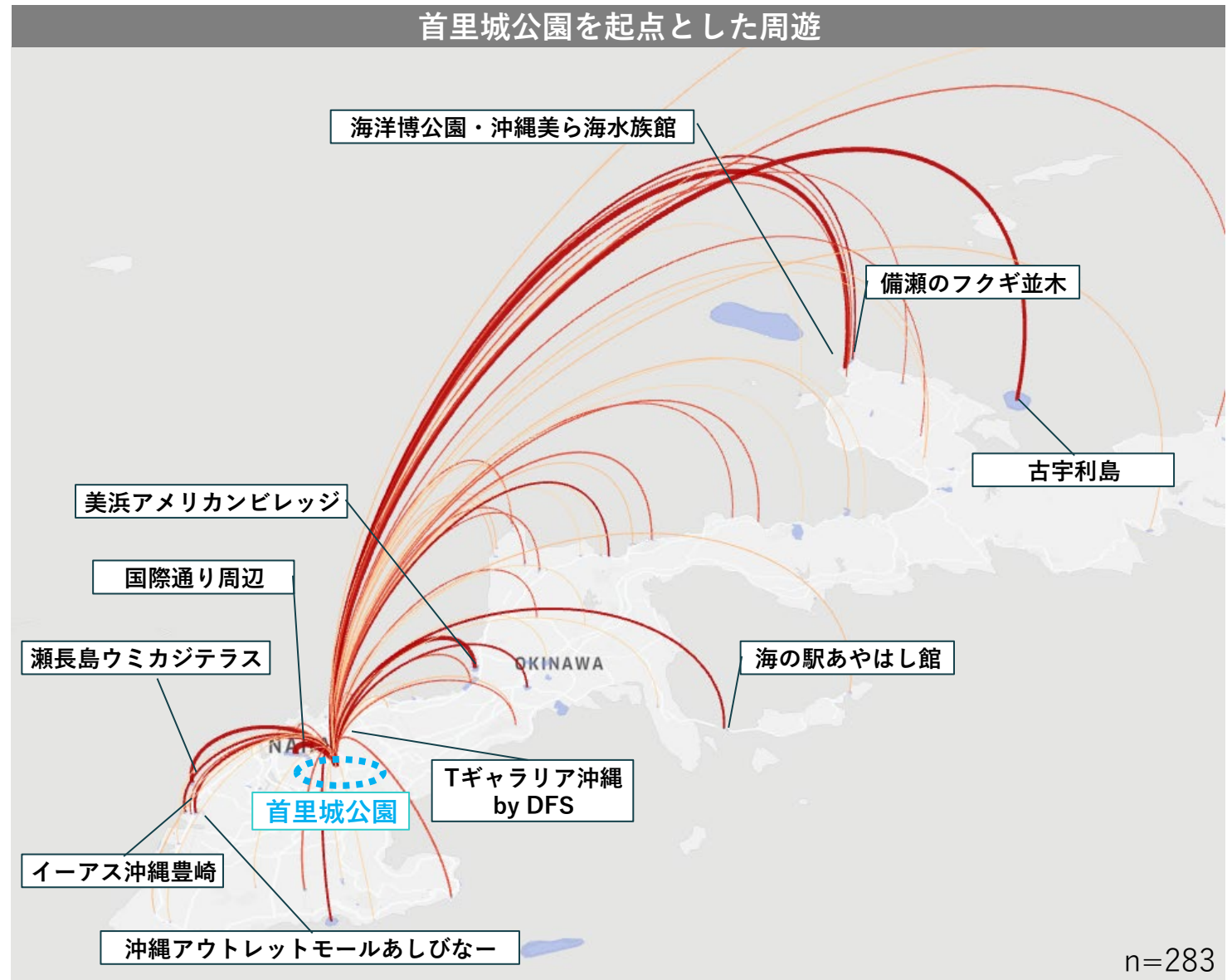
2. 分析結果

⑥エリア別（首里城公園）の周遊分析

- ◆首里城公園に訪れた観光客は北部では海洋博公園、古宇利島等への立ち寄りが多い。
- ◆中南部では国際通り、美浜アメリカンビレッジ、瀬長島ウミカジテラス等への立ち寄りが多い。

順位	エリア名	各エリアへの立ち寄り割合
1	国際通り周辺	8.1%
1	海洋博公園・沖縄美ら海水族館	8.1%
3	古宇利島	6.7%
4	美浜アメリカンビレッジ	5.7%
5	瀬長島ウミカジテラス	4.6%
6	沖縄アウトレットモール あしびなー	2.8%
7	備瀬のフクギ並木	2.5%
7	海の駅あやはし館	2.5%
7	イーアス沖縄豊崎	2.5%
7	Tギャラリー沖縄by DFS	2.5%

（首里城公園に訪れた立ち寄り者数、283件のうち上位10エリアの立ち寄り割合）



（首里城公園に立ち寄った方のうち指定した観光エリアに30分以上滞在をカウント）